

平成28年4月1日

電気通信学部関係学生各位

教務課学域教務係

電気通信学部1・2・3・4年次開講科目の再履修について（通知）

平成22年4月に電気通信学部が改組され、情報理工学部となりました。電気通信学部学生は、原則として、卒業するまで入学時に配付した学修要覧に記載されているカリキュラム表に従い授業を履修することになりますが、正規の開講学期を過ぎた授業科目については、順次閉講していくこととなります。

このため、再履修を要する学生や休学等により授業を履修できなかった学生が、これらの正規の開講学期を過ぎた授業科目を履修する場合は、下記により履修してください。

記

平成28年度に電気通信学部1・2・3・4年次開講科目を履修する場合は、下記によること。

1. 電気通信学部学生用として開設される「再履修クラス」の授業を履修する。  
(該当科目は電気通信学部（再履修クラス）時間割に掲載)
2. 情報理工学部又は情報理工学域で開設される授業を「読替科目」として履修する。  
(例) 昼間コース専門基礎科目「化学構造論」(2単位 1学期)を再履修する場合は、読替え等対応科目である情報理工学部昼間コース「化学概論」(2単位 1学期)を履修する。この場合、単位を修得した場合は、「化学構造論」の単位として成績がつくことになる。  
なお、平成28年4月に情報理工学部が情報理工学域に改組されたため、情報理工学部の1年次開講科目は原則として情報理工学域科目で読み替えることになる。このため、上記の情報理工学部昼間コース「化学概論」は、情報理工学域「化学概論第一」(2単位 1学期)で読み替える。電気通信学部生は、この「化学概論第一」を履修することにより、「化学構造論」の単位となるので注意すること。  
(情報理工学部及び情報理工学域時間割で対応科目の曜日・時限を確認すること。)
3. 「再履修科目」及び「読替科目」は、「平成28年度電気通信学部 読替科目等対応表」及び「平成28年度情報理工学部 読替科目等対応表」で確認すること。
4. 注意事項  
読替科目として、2科目が設定されている科目がある。この場合、いずれかの科目を選択して履修することになる。なお、昨年度まで同一年度に履修できるのはいずれか1科目のみとし、前学期に履修して不合格だった場合に、後学期開講の読替科目を再履修することはできないものとしていたが、今年度から同一年度内の再履修を認めることとする。ただし、実験科目等再履修者の受入れ人数の制約のある科目等については再履修できない場合があるので、事前に担当教員に申し出て確認すること。

不明な点は、教務課学域教務係（2番窓口）で確認してください。

平成28年4月1日

電気通信学部学生各位

教務課学域教務係

電気通信学部の再履修における  
「読替科目履修上の注意」について

再履修科目として情報理工学部又は情報理工学域の読替科目を履修する場合は、必ず「平成28年度 読替科目等対応表」に指定されている開講学科の授業科目を履修すること。

同一科目名の授業科目であっても、読替科目等対応表で指定された学科以外の学科の科目を履修した場合には、卒業単位として認定されないので注意してください。

また、読替科目等対応表による対応関係のない情報理工学部科目及び情報理工学域科目を履修することはできない。

平成28年4月1日

電気通信学部  
学生各位

教務課学域教務係

### 読替等対応科目の履修上の注意事項について

「読替科目等対応表」により履修する場合には、下記の事項に注意して履修をしてください。

#### 記

1. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム（旧カリキュラム）表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。
2. 旧学科の科目によっては、複数の読替等対応科目が設定されており、開講学期が前学期と後学期に異なっている場合がある。この場合いずれか一方を選択して受講することとする。なお、昨年度まで同一年度に履修できるのはいずれか1科目のみとし、前学期に履修して不合格だった場合に、後学期の読替等対応科目を再履修することはできないものとしていたが、今年度から同一年度内の再履修を認めることとする。ただし、実験科目等再履修者の受入れ人数の制約のある科目等については再履修できない場合があるので、事前に担当教員に申し出て許可を得ること。
3. 同一の読替等対応科目が、複数の旧学科科目の読替として設定されている場合には、旧学科科目は1科目しか履修することができない。  
例) 夜間主コース専門共通科目  
旧科目名「制御工学」の読替等対応科目は、K課程「制御工学」となっている。  
一方、旧MTHの学科選択科目「システム工学」の読替科目もK課程「制御工学」となっている。  
この場合、専門共通科目の「制御工学」と学科選択科目の「システム工学」は読替等対応科目が同一科目のため、両方を履修することはできない。

平成28年度

電気通信学部 読替科目等対応表  
(昼間コース)

平成28年4月

平成28年度 電気通信学部 読替科目等対応表(昼間コース)

[平成28年4月1日]

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
人文・社会科学科目	#	哲学A	2	○		共通	哲学A	2	3	開講せず。
	#	哲学B	2	○			哲学B	2	4	
	#	倫理学A	2	○			倫理学A	2	3	
	#	倫理学B	2	○			倫理学B	2	4	
	#	心理学A	2	○			心理学A	2	3	
	#	心理学B	2	○			心理学B	2	4	
	#	歴史学A	2	○			歴史学A	2	3	
	#	歴史学B	2	○			歴史学B	2	4	
	#	科学史A	2	○			科学史A	2	3	
	#	科学史B	2	○			科学史B	2	4	
	#	文学A	2	○			文学A	2	3	
	#	文学B	2	○			文学B	2	4	
	#	美術A	2	○			美術A	2	3	
	#	美術B	2	○			美術B	2	4	
	#	音楽A	2	○			音楽A	2	3	
	#	音楽B	2	○			音楽B	2	4	
	#	経済学A	2	○			経済学A	2	3	
	#	経済学B	2	○			経済学B	2	4	
	#	社会学A	2	○			社会学A	2	3	
	#	社会学B	2	○			社会学B	2	4	
	#	法学A	2	○			法学A	2	3	
	#	法学B	2	○			法学B	2	4	
	#	政治学A	2	○			政治学A	2	3	
	#	政治学B	2	○			政治学B	2	4	
	#	地理学A	2	○			地理学A	2	3	
	#	地理学B	2	○			地理学B	2	4	
	#	社会思想史A	2	○			社会思想史A	2	3	
	#	社会思想史B	2	○			社会思想史B	2	4	
#	文化人類学A	2	○		文化人類学A	2	3			
#	文化人類学B	2	○		文化人類学B	2	4			
#	文章表現法	2	○		<del>文章表現法</del>	<del>2</del>	<del>3</del>			
#	技術史	2	○		技術史	2	3			
言語文化科目	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1	◎		共通	Academic Written English I	1	1	
		Academic Spoken English I	1	◎			Academic Spoken English I	1	1	
		Academic Written English II	1	◎			Academic Written English II	1	2	
		Academic Spoken English II	1	◎			Academic Spoken English II	1	2	
	言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	1	◎		共通	Academic English for the Second Year I	1	3	
		Academic English for the Second Year II	1	◎			Academic English for the Second Year II	1	4	
	言語文化基礎科目II	独語第一	1	○		共通	独語第一(再履)	1	3	
		独語第二	1	○			独語第二(再履)	1	4	
		仏語第一	1	○			仏語第一(再履)	1	3	
		仏語第二	1	○			仏語第二(再履)	1	4	
		露語第一	1	○			露語第一(再履)	1	3	
		露語第二	1	○			露語第二(再履)	1	4	
		中国語第一	1	○			中国語第一(再履)	1	3	
		中国語第二	1	○			中国語第二(再履)	1	4	
	韓国朝鮮語第一	1	○		韓国朝鮮語第一(再履)	1	3			
	韓国朝鮮語第二	1	○		韓国朝鮮語第二(再履)	1	4			
言語文化応用科目II	選択独語第一	1			共通	選択独語第一	1	1		
	選択独語第二	1				選択独語第二	1	2		
	選択仏語第一	1				選択仏語第一	1	1		
	選択仏語第二	1				選択仏語第二	1	2		
	選択露語第一	1				選択露語第一	1	1		
	選択露語第二	1				選択露語第二	1	2		
	選択中国語第一	1				選択中国語第一	1	1		
	選択中国語第二	1				選択中国語第二	1	2		
選択韓国朝鮮語第一	1			選択韓国朝鮮語第一	1	1				
選択韓国朝鮮語第二	1			選択韓国朝鮮語第二	1	2				

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新」「新M」と表記している。  
総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
言語文化科目	言語文化演習科目	英語演習	2	○		共通	英語演習	2	3又は4	
		独語演習	2	○			独語演習	2	3	
		独語運用演習	2	○			独語運用演習	2	4	
		仏語演習	2	○			仏語演習	2	3	
		仏語運用演習	2	○			仏語運用演習	2	4	
		露語演習	2	○			露語演習	2	3	
		露語運用演習	2	○			露語運用演習	2	4	
		中国語演習	2	○			中国語演習	2	3	
		中国語運用演習	2	○			中国語運用演習	2	4	
		韓国朝鮮語演習	2	○			韓国朝鮮語演習	2	3	
		韓国朝鮮語運用演習	2	○			韓国朝鮮語運用演習	2	4	
		日本語演習	2	○			日本語演習	2	4	
		国際文化演習	2	○			国際文化論	2	6	
		言語表現演習	2	○			外国語との対比による日本語表現	2	5	
日本語・日本文化科目	日本語	日本語第一	2	◎		共通	日本語第一	2	1	
		日本語第二	2	◎			日本語第二	2	2	
		日本語第三	2	◎			日本語第三	2	3	
	日本文化科目	日本文化A	2	○		共通	日本文化A	2	1	
		日本文化B	2	○			日本文化B	2	2	
健康・スポーツ科学科目		健康・体力づくり実習	1	◎		共通	健康・体力づくり実習	1	1・2	
		健康論	1	◎			健康論	1	2	
		生涯スポーツ演習A	1	○			生涯スポーツ演習A	1	3	
		生涯スポーツ演習B	1	○			生涯スポーツ演習B	1	4	
		生涯スポーツ演習C	1	○			生涯スポーツ演習C	1	夏季集中	
理工系教養科目		宇宙・地球科学	2	○		共通	宇宙・地球科学	2	2	
		生物学	2	○			生物学	2	2	
		# 化学とエネルギー	2	○			化学とエネルギー	2	3	
		材料化学	2	○			材料化学	2	2	
		論理学	2	○			現代数学入門A	2	3	
		現代数学入門A	2	○			現代数学入門A	2	3	
		現代数学入門B	2	○			現代数学入門B	2	3	
国際科目		# (G) UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	2	○					平成28年度国際科目時間割を参照のこと。	
		# (G) UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IIA (Cross-cultural Communication)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IIB (Cross-cultural Communication)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IIIA (Research & Presentation)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IIIB (Research & Presentation)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IVA (Comprehensive Reading & Summary Writing)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills IVB (Comprehensive Reading & Summary Writing)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills VA (Maths & Scientific Writing)	2	○						
		# (G) UEC Academic Skills VB (Maths & Scientific Writing)	2	○						
		# (G) Applicable Modelling with Mathematics #1	2	○						
# (G) Applicable Modelling with Mathematics #2	2	○								

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。  
 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。  
 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。  
 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
上級科目目(一般)	科学という文化	科学的实在論の可能性	2	○		共通	科学的实在論の可能性	2	5・7	
		内包的文脈の諸相, 意味・行為・信念	2	○			内包的文脈の諸相	2	6・8	
		江戸の社会と数学	2	○			江戸の社会と数学	2	5・7	
		伝統科学と近代科学との相剋	2	○			伝統科学と近代科学との相剋	2	6・8	
	現代社会を見る目	日本の内政と外交	2	○			日本の内政と外交	2	5・7	
		現代の世界政治	2	○			現代の世界政治	2	6・8	
		物流論	2	○						開講せず。
		現代の教育	2	○			現代の教育	2	5・7	
	文化と人間	# 教育の歴史	2	○			★教育の歴史	2	6・8	
		教育と憲法(日本国憲法)	2	○			教育と憲法(日本国憲法)	2	(夏季集中講義)	
		御伽草子の想像力	2	○			御伽草子の想像力	2	5・7	開講せず。
		近代小説の人間学	2	○			近代小説の人間学	2	6・8	
	コミュニケーション演習	エートス論	2	○			エートス論	2	5・7	
		倫理思想論	2	○			倫理思想論	2	6・8	
		English Interpersonal Communication	2	○			★English for Interpersonal Communication	2	6・8	
		Presentation	2	○			★Research Presentation	2	5・7	
		Expository Writing	2	○						開講せず。
		English Intercultural Communication	2	○			☆English for Intercultural Communication	2	5・7	H28年度は開講せず。
		Extensive Reading A	2	○						開講せず。
		Extensive Reading B	2	○						開講せず。
		Exploring Issues in Science, Technology and Society	4	○			(同名科目は単位数が異なるため読替科目としない。)			開講せず。
		Communication in Academic Environments	4	○			(同名科目は単位数が異なるため読替科目としない。)			開講せず。
	言語の科学	外国語とその運用	2	○			外国語とその運用A【独・仏・露・中・韓】	2	5・7	
		外国語と外国語文化	2	○			外国語とその運用B【独・仏・露・中・韓】	2	6・8	
		Scientific English: Reading and Presentation	2	○			★Reading Scientific Research	2	5・7	
		言語科学論	2	○			☆Research Writing	2	6・8	H28年度は開講せず。
	多元文化分析	言語習得論	2	○						開講せず。
比較言語論		2	○					開講せず。		
認知言語論		2	○		認知言語学	2	6・8			
比較文化論		2	○		比較文化論	2	5・7			
運動とスポーツの科学	地域文化論	2	○					開講せず。		
	文化干渉論	2	○		地域文化論	2	6・8			
	身体運動のバイオメカニクス	2	○		文化干渉論	2	5・7			
	運動と筋の科学	2	○		身体運動のバイオメカニクス	2	5・7			
対人関係の病理	エイジングの健康科学	2	○		運動と筋の科学	2	5・7			
	スポーツとコミュニケーション	2	○		エイジングの健康科学	2	5・7			
	日常生活の対人関係	2	○		スポーツとコミュニケーション	2	6・8			
	知的生産性と対人関係	2	○		日常生活の対人関係	2	5・7			
自然科学的世界像	技術の発達と対人関係	2	○					開講せず。		
	対人関係の障害	2	○					開講せず。		
	現代物理学を創った人々	2	○		★現代物理学を創った人々	2	5・7			
	物理学の発展と最前線	2	○		☆物理学の発展と最前線	2	6・8	H28年度は開講せず。		
国際文化	日本の科学と技術A	2	○		日本の科学と技術A	2	5・7			
	日本の科学と技術B	2	○		日本の科学と技術B	2	6・8			
	日本語とコミュニケーションA	2	○		日本語とコミュニケーションA	2	5・7			
	日本語とコミュニケーションB	2	○		日本語とコミュニケーションB	2	6・8			

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
上級科目 (総合講義)	#	科学技術と人間	2	○		共通	科学技術と人間	2	5・7	
	#	認識の諸相	2	○			認識の諸相	2	6・8	
	#	環境論	2	○			環境論	2	6・8	
	#	言語と文化	2	○			文化と言語	2	6・8	
上級科目 (上級講義)	#	数学の哲学	2	○			数学の哲学	2	5・7	
	#	※認知科学	2	○			認知科学	2	6・8	
	#	王朝物語の精神史	2	○			王朝物語の精神史	2	5・7	
	#	人間と外交	2	○			人間と外交	2	5・7	
	#	宗教と倫理	2	○			宗教と倫理	2	6・8	開講せず。
		人間と教育	2	○			☆人間と教育	2	6・8	H28年度は開講せず。
		健康の科学	2	○			健康の科学	2	6・8	
		体力の科学	2	○			体力の科学	2	6・8	
		代数と幾何学	2	○						開講せず。
		数理解析学	2	○						開講せず。
		現代化学	2	○			現代化学	2	6・8	
		国際技術協力論	2	○						開講せず。
		知的財産権概論	2	○		知的財産権	2	6・8		
		情報と職業	2	○		情報と職業	2	5・7		
		☆宇宙通信工学	2	○		I科	宇宙通信工学	2	(通年3・4年次開講)	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S



専門基礎科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
						開講学科	新学科科目名	単位数		
専門基礎科目		微分積分学第一	2	(必修・選択の別は学科により異なるので、学修要覧を参照のこと。)		共通	微分積分学第一	2	1	
		微分積分学第二	2			共通	微分積分学第二	2	2	
		線形代数学第一	2			共通	線形代数学第一	2	1	
		線形代数学第二	2			共通	線形代数学第二	2	2	
		解析学	2			共通	解析学	2	2	
		力学第一	2			共通	物理学概論第一(再履)	2	3	読替科目(再履修者対象クラス)を受講のこと。
		力学第一演習	1		●				1	再履修クラスを受講のこと。
		力学第二	2			新M	力学および演習	3	3	新M学科又はS学科のいずれかを選択して受講することができる。
		力学第二演習	1			S	力学	2	3	
		力学概論	1		●				2	再履修クラスを受講のこと。
		力学概論	2			共通	物理学概論第一(再履)	2	3	読替科目(再履修者対象クラス)を受講のこと。
		基礎科学実験A	2		●				1	1学期6・7時限に開講。履修方法は、物理教室の指示に従うこと。
		基礎科学実験B	2			共通	基礎科学実験B	2	1又は2	履修学期及び履修方法は、化学教室の指示に従うこと。
		コンピュータリテラシー	2			共通	コンピュータリテラシー	2	1	
		基礎プログラミングおよび演習	2			共通	基礎プログラミングおよび演習	2	2	
		数学演習第一	1			共通	数学演習第一	1	1	
		数学演習第二	1			共通	数学演習第二	1	2	
		電磁気学概論	2			共通	物理学概論第二(再履)	2	4	読替科目(再履修者対象クラス)を受講のこと。
		熱物理学	2			S	化学熱力学	2	3	
		波動と光	2			I	波動と光	2	3	(注意) I学科(3学期)又はS学科(4学期)のいずれかを選択して受講することができる。
		波動と光	2			S	波動と光	2	4	
		化学構造論	2			共通	化学概論	2	1	
	化学平衡論	2		学域	化学概論第二	2	2			
	現代物理学	2		共通	物理学概論第三	2	3			
	サイエンス工房	2						開講せず。		
	※物理学入門第一	2						開講せず。		
	※物理学入門第二	2						開講せず。		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

## C.4 学科専門科目

## C.4.1 情報通信工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授 業 科 目	単 位 数	ク ラ ス 履 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考	
					開講学科	新学科科目名	単 位 数			
必修		離散数学第一	2		I	離散数学	2	3		
		離散数学第一演習	1		I	情報・通信演習1	1	3		
		プログラミング演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
		応用数学	2		I	応用数学	2	3		
		電磁気学第一	2		I	基礎電磁気学	2	4		
		電磁気学第一演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
		回路・システム学第一	2		I	基礎電気回路	2	4		
		アルゴリズム基礎論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5		
		アルゴリズム基礎論演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
		電磁気学第二	2		I	解析電磁気学	2	5		
		電磁気学第二演習	1		I	解析電磁気学演習	1	5		
		回路・システム学第二	2		I	回路システム学	2	5		
		論理回路学	2		I	論理回路学	2	5		
		論理回路学演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
		情報通信と符号化	2		I	情報通信と符号化	2	4		
		回路・システム学第三	2		I	伝送回路論	2	6		
		情報通信工学実験A	3		I	情報通信システム実験第一	3	5		
		情報通信工学実験B	3		I	情報通信システム実験第二AB	3	6	実験第二A及び実験第二Bの2科目を受講すること。	
		情報通信工学演習	2	●				7	再履修クラスを受講のこと。	
	目		輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
		卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択		基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	開講せず。	
		関数論	2		I	複素関数論	2	3		
		離散数学第二	2		I	グラフとネットワーク	2	5		
		基礎電子工学	2		I	基礎電子工学	2	4		
		確率論	2		新J	確率論	2	3		
		統計数学	2		新J	統計学	2	4		
		情報理論	2		I	情報理論	2	5		
		数値計算	2		I	数値計算	2	4		
		アルゴリズム・データ構造	2		新J	アルゴリズム論	2	5		
		アルゴリズム・データ構造演習	1		新J	プログラミング演習	1	4		
		信号処理論	2		I	信号処理論	2	5		
		電子回路学	2		I	電子回路学	2	6		
		制御工学	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5		
		量子と情報	2		I	量子力学	2	4		
		線形システム理論	2		I	線形システム理論	2	6		
		符号理論	2		I	符号理論	2	6		
	目	#	暗号理論	2		J	暗号理論	2	6	
		#	数理計画	2		I	数理計画法	2	6	
		#	計算機言語演習	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		計算機工学	2		新J	計算機工学	2	3		

C.4 学科専門科目

C.4.1 情報通信工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授 業 科 目	単 位 数	ク ラ ス 履 修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備 考	
					開講学科	新学科科目名 単 位 数			
選  択  科  目		電磁波工学	2		I	電磁波工学	2	7	
		計測工学	2		I	計測工学	2	6	
		通信システム	2		I	通信システム学	2	6	
	#	音声・音響工学	2		I	音響工学	2	7	
	#	画像処理工学	2		I	画像処理工学	2	7	
	#	計算機システム	2		新J	計算機アーキテクチャー	2	5	
		センシング・信号処理演習	1						開講せず。
		情報ネットワーク	2		I	コンピュータネットワーク	2	6	
	#	光通信工学	2		I	光通信工学	2	6	
	#	集積回路工学	2		I	集積回路学	2	7	
	#	情報セキュリティシステム	2		新J	ネットワークセキュリティ	2	6	
	#	通信法規	2		I	通信法規	2	8	
		データベース	2		I	データベース論	2	5	
		○宇宙通信工学	2		I	宇宙通信工学	2	5・6	通年科目
		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2	
自  由  科  目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5	
	#	知的財産権管理	2						開講せず。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4		
#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.2 情報工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名 単位数			
必修科目		離散数学	2		I	離散数学	2	3	
		プログラミング通論	2		I	プログラミング通論	2	4	
		計算機通論	2		I	計算機通論	2	3	
		論理設計学	2		I	論理設計学	2	5	
		複素数学	2		I	複素関数論	2	3	
		情報工学演習第一	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		情報工学演習第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		データ構造論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5	
		数値計算第一	2		I	数値計算	2	4	
		オペレーティングシステム論	2		I	オペレーティングシステム論	2	6	
		情報工学実験第一	4		I	コンピュータサイエンス実験第一	4	5	
		情報工学実験第二A	2		I	コンピュータサイエンス実験第二A	2	6	
		情報工学実験第二B	2		I	コンピュータサイエンス実験第二B	2	6	
		輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
		情報工学実験第三	4	●				7	再履修クラスを受講のこと。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択科目		基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	開講せず。
		数理解析第一	2		I	グラフとネットワーク	2	5	
		オートマトン理論	2		I	オートマトン理論	2	5	
		コンピュータ設計論	2		I	コンピュータ設計論	2	6	
		数理解析第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		# プログラム言語論	2		I	プログラム言語論	2	5	
		# 言語処理系論	2		I	言語処理系論	2	5	
		# アルゴリズム論	2		I	アルゴリズム論第二	2	6	
		# 形式言語理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		# ヒューマンインタフェース	2		I	ヒューマンインタフェース	2	5	
		数値計算第二	2		I	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	2	6	
		# 計算理工学第一	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		# 数値解析	2		I	数値解析	2	5	
		# 最適化理論	2		I	数値計画法	2	6	
		# 応用解析	2		I	応用数学	2	3	
		# 自然言語処理論	2		新J	認知工学	2	6	
		# データベース論	2		I	データベース論	2	5	
		# 計算理論	2		I	計算理論	2	6	
		# ソフトウェア工学	2		I	ソフトウェア工学	2	6	
		# 計算理工学第二	2		I	シミュレーション理工学	2	6	
		# 有限要素法	2		I	離散数理工学	2	6	
		# 統計数学	2		I	統計数学	2	6	
		# ベンチャービジネス概論	2		共通	ベンチャービジネス概論	2	5	
	# 知的財産権管理	2						開講せず。	

## C.4 学科専門科目

## C.4.2 情報工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名 単位数		
選択科目	#	人工知能論	2		I	知的情報処理	2	6
	#	コンピュータグラフィックス	2		I	コンピュータグラフィックス	2	8
	#	コンピュータネットワーク	2		I	コンピュータネットワーク	2	6
		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2
自由科目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4
	#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
必修		電子工学基礎セミナー	2	●				開講せず。	
		電気数学第一	2		新M	工学解析および演習	3	3	火曜3時限を受講すること。
		電気数学第一演習	1		新M	工学解析および演習	3	3	火曜4時限を受講すること。
		電気数学第二	2		S	応用数学	2	5	一色先生の授業を受講すること。
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第二	2		S	電磁気学第二	2	4	
		電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		電気回路第一	2		新M	電気回路および演習	3	4	履修方法は担当教員に確認すること。
		電気回路第一演習	1		新M	電気回路および演習	3	4	
		電気回路第二	2		I	回路システム学	2	5	
		電気回路第二演習	1		I	回路システム学演習	1	5	
		電子回路	2		新M	電子回路および演習	3	5	新M電子回路および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため教員に確認すること。
		電子回路演習	1		新M	電子回路および演習	3	5	
		デジタル回路	2		I	論理回路学	2	5	
		基礎電子デバイス	2		I	基礎電子工学	2	4	
		電子工学実験第一	3	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		電子工学実験第二	3		S	電子工学実験第一	3	5	
		電子工学実験第三	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		電子工学輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択		確率統計学	2		I	確率統計	2	3	
		コンピュータシステム	2		I	コンピュータ設計論	2	6	
		応用電子回路	2		I	集積回路学	2	7	
	#	線形システム理論	2		I	線形システム理論	2	6	
	#	電波法	2		I	通信法規	2	8	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
	#	電子工学工房	2		I	電子工学工房	2	通年	1-4年次
		量子力学	2		I	量子力学	2	4	
		固体物理学	2		S	固体電子論	2	5	
		半導体工学	2		S	半導体工学	2	6	
	#	電子デバイス	2		S	電子デバイス	2	6	
	#	光電子材料学	2		S	光電子材料学	2	6	
	#	量子エレクトロニクス	2		S	量子エレクトロニクス	2	6	
		光波工学	2		S	光波工学	2	6	
		画像工学	2		S	画像工学	2	6	
		電磁波工学	2		I	電磁波工学	2	7	
目		制御工学	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5	
		計測工学	2		新M	電気電子計測	2	5	
		デジタル信号処理	2		I	信号処理論	2	5	

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名		
選択科目	#	応用プログラミング	2		新M	プログラミング演習	2	4
		情報理論	2		I	情報理論	2	5
		通信工学	2		I	通信システム学	2	6
	#	音響エレクトロニクス	2		I	音響工学	2	7
	#	電子システム	2		I	電子機器システム学	2	6
		数値計算法	2		S	計算数理工学	2	6
	#	知的財産権管理	2					開講せず。
		○宇宙通信工学	2		I	宇宙通信工学	2	5・6 通年科目
		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2
		※情報処理演習第一	2		I	※情報処理演習第一	2	3
		※情報処理演習第二	2		I	※情報処理演習第二	2	4
自由科目		地学第一	2		新M、S	地学第一	2	1
		地学第二	2					開講せず。
		地学実験	2		新M、S	地学実験	2	5
		生物学実験	2		新M、S	生物学実験	2	5
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4
	#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物理・量子工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目		電気・電子回路学第一	2		S	基礎電気・電子回路第一	2	3	
		電気・電子回路学第一演習	1						開講せず。
	#	応用数理解析第一	2		S	工学基礎数学	2	3	
	#	解析力学	2		S	解析力学	2	5	
		熱物理学	2		S	化学熱力学	2	3	
		波動と光	2		S	波動と光	2	4	
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第二	2		S	電磁気学第二	2	4	
		電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		量子力学第一	2		S	量子力学第一	2	5	
	#	量子力学第一演習	1		S	量子力学第一演習	1	5	
		統計熱力学	2		S	熱・統計物理学基礎	2	6	
		統計力学演習	1		S	熱・統計物理学応用	2	6	
		物性物理学第一	2		S	固体物理工学第一	2	5	
		物性物理学第二	2		S	固体物理工学第二	2	6	
		電子回路学実験	3						開講せず。
		物理・量子工学実験A	3		S	応用物理工学実験第一	3	5	
		物理・量子工学実験B	3		S	応用物理工学実験第二	3	6	
		技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
	輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択必修科目		基礎セミナー	2						開講せず。
		コンピュータ演習	2		S	コンピュータ演習	2	5	
	#	応用数理解析第二	2		S	応用数学	2	5	
	#	電気・電子回路学第二	2		S	基礎電気・電子回路第二	2	4	
	#	応用電磁気学	2		S	電磁波工学	2	5・7	
	#	量子力学第二	2		S	量子力学第二	2	6	
		量子力学第二演習	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	物理実験学	2		S	計測物理実験学	2	5	
#	基礎光工学	2		S	光波工学	2	6		
選択科目		関数論	2		I	複素関数論	2	3	
	#	応用電気・電子回路学	2		S	電気回路	2	5	
	#	半導体量子工学	2		S	半導体工学	2	6	
	#	固体量子工学	2		S	固体電子論	2	5	
	#	固体デバイス工学	2		S	電子デバイス	2	6	
	#	分子分光学	2		S	分子分光学	2	6	
	#	生命情報学第一	2		S	神経科学	2	5	
	#	電子物性工学	2		S	光電子材料学	2	6	
		※基礎数学演習第一	1		S	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		S	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		S	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		S	※基礎物理学演習第二	1	2	
	※情報処理演習第一	2		S	※情報処理演習第一	2	3		
	※情報処理演習第二	2		S	※情報処理演習第二	2	4		



## C.4 学科専門科目

## C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

## 物理・量子工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
自	#	上級コンピュータ演習	1	/	/	/	/	開講せず。	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		地学第一	2		S	地学第一	2	1	
		地学第二	2	/	/	/	/	開講せず。	
		地学実験	2		S	地学実験	2	5	
由		生物学実験	2		S	生物学実験	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5	
	#	知的財産権管理	2	/	/	/	/	開講せず。	
	#	基礎量子エレクトロニクス	2		S院	光・量子エレクトロニクス基礎	2	7	大学院連携科目
	#	基礎量子物理学	2		S院	量子物理学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	低温物性工学特論	2		S院	低温量子物性工学特論	2	7	大学院連携科目
	#	強相関電子物性工学特論	2		S院	電子物性特論	2	8	大学院連携科目
	#	基礎量子統計論	2		S院	固体量子工学特論	2	7	大学院連携科目
科	#	基礎固体物性論	2		S院	固体物性論基礎	2	7	大学院連携科目
	#	有機合成化学	2	/	/	/	/	開講せず。	
	#	分子細胞生物学	2		S院	分子細胞生物学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	基礎量子化学	2	/	/	/	/	開講せず。	
	#	生体情報学	2		S院	生体情報学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	光機能物質化学特論	2		S院	光化学	2	7	大学院連携科目
	目								

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物質・生命情報工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
必修科目	#	応用数理解析第一	2		S	工学基礎数学	2	3	
		電気・電子回路学第一	2		S	基礎電気・電子回路第一	2	3	
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		物理化学	2		S	物理化学	2	5	
		基礎量子論	2		S	量子力学第一	2	5	
	#	無機物質工学	2		S	無機化学	2	5	
	#	分子分光学	2		S	分子分光学	2	6	
	#	移動現象論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		有機化学	2		S	有機化学	2	5	
	#	有機物質工学第一	2		S	有機物質工学	2	6	
		基礎生物学	2		S	分子生物学	2	4	
	#	生物化学	2		S	生体機能分子工学	2	5	
		物質工学演習A	1		S	生体機能システム演習第一	1	5	
		物質工学演習B	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		生命情報工学演習	1		S	生体機能システム演習第二	1	6	
		電子回路学実験	3						開講せず。
		物質・生命情報工学実験A	3		S	生体機能システム実験第一	3	5	
		物質・生命情報工学実験B	3		S	生体機能システム実験第二	3	6	
		技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
		輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択必修科目		基礎セミナー	2						開講せず。
		熱物理学	2		S	化学熱力学	2	3	
		電気・電子回路学第一演習	1						開講せず。
		コンピュータ演習	2		S	コンピュータ演習	2	5	
		波動と光	2		S	波動と光	2	4	
	#	電子物性工学	2		S	光電子材料学	2	6	
	#	有機物質工学第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	有機機器分析学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	細胞生物工学	2		S	細胞生物工学	2	5	
	#	量子化学	2		S	量子化学	2	5	
	生命情報学第一	2		S	神経科学	2	5		
#	分子生物工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
選択必修科目		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	#	電気・電子回路学第二	2		S	基礎電気・電子回路第二	2	4	
	#	応用電気・電子回路学	2		S	電気回路	2	5	
	#	高分子材料科学	2		S	高分子機能科学	2	6	
	#	生命情報学第二	2		S	システム生物学	2	6	
		※基礎数学演習第一	1		S	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		S	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		S	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		S	※基礎物理学演習第二	1	2	
		※情報処理演習第一	2		S	※情報処理演習第一	2	3	
	※情報処理演習第二	2		S	※情報処理演習第二	2	4		

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物質・生命情報工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
自	#	上級コンピュータ演習	1	△	△	△	△	開講せず。	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		地学第一	2		S	地学第一	2	1	
		地学第二	2	△	△	△	△	開講せず。	
		地学実験	2		S	地学実験	2	5	
		生物学実験	2		S	生物学実験	2	5	
由	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5	
科	#	知的財産権管理	2	△	△	△	△	開講せず。	
	#	基礎量子エレクトロニクス	2		S院	光・量子エレクトロニクス基礎	2	7	大学院連携科目
	#	基礎量子物理学	2		S院	量子物理学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	低温物性工学特論	2		S院	低温量子物性工学特論	2	7	大学院連携科目
	#	強相関電子物性工学特論	2		S院	電子物性特論	2	8	大学院連携科目
	#	基礎量子統計論	2		S院	固体量子工学特論	2	7	大学院連携科目
	#	基礎固体物性論	2		S院	固体物性論基礎	2	7	大学院連携科目
	#	有機合成化学	2	△	△	△	△	開講せず。	
	#	分子細胞生物学	2		S院	分子細胞生物学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	基礎量子化学	2	△	△	△	△	開講せず。	
	#	生体情報学	2		S院	生体情報学基礎	2	7	大学院連携科目
	#	光機能物質化学特論	2		S院	光化学	2	7	大学院連携科目

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授業科目	単 位 数	ク 再 履 ス 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
必修 科目		知能機械基礎実験A	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		知能機械基礎実験B	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		知能機械工学実験A	2		新M	知能機械工学基礎実験 I		5	
		知能機械工学実験B	2		新M	知能機械工学基礎実験 II		6	
		マシンデザイン基礎	2		新M	メカノデザイン	2	4	
		マシンデザイン演習第一	2		新M	マシンデザイン I	2	5	
		マシンデザイン演習第二	2		新M	マシンデザイン II	2	6	
	#	技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
	#	輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
		卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
選択 必修 科目		材料力学第一および演習	3		新M	材料力学および演習	3	3	
		材料工学第一	2		新M	材料工学	2	6	
		機械力学および演習	3		新M	機械力学および演習	3	4	
		機構要素設計	2		新M	機構要素設計	2	5	
		熱力学および演習	3		新M	熱力学および演習	3	5	
		流体力学および演習	3		新M	流体力学および演習	3	6	
		加工学Aおよび演習	3		新M	加工学および演習	3	5	
		工学解析および演習	3		新M	工学解析および演習	3	3	
		制御工学および演習	3		新M	基礎制御工学および演習	3	5	
		基礎ロボット工学および演習	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。
選択 科目	#	知能機械工学基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	開講せず。
		メカトロニクス基礎	2		新M	メカトロニクス	2	3	
	#	材料力学第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		上級プログラミング	2		新M	プログラミング演習	2	4	
	#	材料工学第二	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	#	熱工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	#	流体工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
		加工学B	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	機械設計工学	2		新M	設計基礎工学	2	5	
	#	コンピュータ工学	2		新M	計算機工学	2	4	
	#	計測工学	2		新M	計測工学概論	2	4	
	#	生産システム工学	2		新M	生産システム工学	2	6	
	#	現代制御工学	2		新M	現代制御工学	2	6	
	#	知能ロボット工学	2		新M	知能ロボット工学	2	6	
		数値計算プログラミング	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		電気・電子回路学	2		新M	電子回路および演習	3	5	
	#	メカトロニクス応用	2		新M	メカトロニクス応用	2	6	
	#	航空宇宙工学	2		新M	航空宇宙工学	2	7	
		数値解析	2		新M	数値解析	2	3	
		関数論	2		新M	応用数学	2	3	
	統計数学	2		新M	確率統計	2	3		
	技術英語	2		新M	Technical English - Basic English for Science	2	5		

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
選択科目		CAD演習	1	●				7	再履修クラスを受講のこと。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		※基礎数学演習第一	1		新M	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新M	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新M	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新M	※基礎物理学演習第二	1	2	
		※情報処理演習第一	2		新M	※情報処理演習第一	2	3	
		※情報処理演習第二	2		新M	※情報処理演習第二	2	4	
自由科目		職業指導	4						開講せず。
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5	
	#	知的財産権管理	2						開講せず。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.6 システム工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	ク再履 ラス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目		情報リテラシー	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
		情報リテラシー演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
		システム工学実験第一	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
		システム工学実験第二	3	/	/	/	/	/	開講せず。	
		システム工学実験第三	1	●				7	再履修クラスを受講のこと。	
		卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択必修科目		基礎セミナー	2	/	/	/	/	/	開講せず。	
		システム数理A	2		新J	応用数学	2	3		
		システム数理B	2		新J	離散数学	2	3	注5を参照のこと。	
		確率統計学第一	2		新J	確率論	2	3		
	#	確率統計学第二	2		新J	統計学	2	4		
	#	経営システム工学基礎A	2	/	/	/	/	/	開講せず。	
	#	経営システム工学基礎B	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
		オペレーションズリサーチA	2		新J	オペレーションズ・リサーチ基礎	2	4		
		オペレーションズリサーチB	2		新J	オペレーションズ・リサーチ	2	5		
		電気回路学	2		I	回路システム学	2	5		
		アルゴリズムとデータ構造	2		新J	アルゴリズムとデータ構造 並びに同演習	3	3		
		コンピュータ工学第一	2		新J	論理回路	2	4		
	#	システム理論	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5		
		情報通信システム	2		新J	情報通信システム	2	5		
	選択科目	#	システム工学概論	2		新J	総合情報学基礎	2	3	
			電子回路学	2		I	電子回路学	2	6	
#		会計情報システム	2		新J	経済性工学	2	5		
#		ヒューマンインタフェース	2		新J	人間工学	2	5		
		制御工学	2		新J	応用数学	2	3		
#		行動科学	2	/	/	/	/	/	開講せず。	
#		信号処理論	2		I	信号処理論	2	5		
#		システム・マネジメント	2		新J	総合情報学特別講義	2	5		
#		生産管理	2		新J	生産管理	2	5		
#		多変量解析	2		新J	多変量解析	2	5		
		応用代数学	2		共通	応用代数学	2	6		
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5		
#		品質管理第一	2		新J	品質管理	2	5		
#		品質管理第二	2		国際 科目	Quality and Reliability Engineering	2	6		
		システム工学	2		新M	現代制御工学	2	6		
		コンピュータ工学第二	2		新J	認知工学	2	6		
#	信頼性・安全性工学	2		新J	信頼性工学	2	6			
#	生体システム計測	2		新M	生体システム工学	2	7			
#	金融情報システム	2		新J	金融工学	2	6			
#	経営情報システム	2		新J	データベース論	2	5			

## C.4 学科専門科目

## C.4.6 システム工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
選択科目		心理システム計測	2		新J	心理情報学	2	6	
		ソフトウェア工学	2		新J	ソフトウェア工学	2	6	
	#	データマイニング	2		新J	アルゴリズム論	2	5	
		○認知科学	2		共通	認知科学	2	6	
	#	ベンチャービジネス概論	2		共通	ベンチャービジネス概論	2	5	
	#	知的財産権管理	2						開講せず。
	#	マーケティング科学	2		新J	マーケティング科学	2	6	
	#	ファジィシステム工学	2		新J	知的情報処理	2	6	
		※基礎数学演習第一	1		新J	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新J	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新J	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新J	※基礎物理学演習第二	1	2	
	自由科目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5
		映像論	2		新J	メディア論	2	6	
		メディアアート	2						開講せず。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
#		キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
#		キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
#	キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

注5. 選択必修科目「システム数理B」の履修については、新J科「離散数学」(3学期)を読替科目として履修することを原則とするが、他の再履修科目と重なるなどの理由によりこれを履修できない場合は、I科「離散数学」(3学期)を読替科目として履修することができる。ただし、必ずI科「離散数学」の授業担当教員の下承を得ること。

C.4 学科専門科目

C.4.7 人間コミュニケーション学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
必修科目		人間コミュニケーション学基礎セミナー	2	●	共通	電気通信大学概論	1	開講せず。本科目の履修希望者は教育委員 高橋(裕)先生に相談すること。	
		人間コミュニケーション学実験	4		新J	5学期:プログラミング言語実験 6学期:メディア情報学実験	5 6	前学期がプログラミング言語実験、後学期がメディア情報学実験	
		輪講	2	●			7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
		卒業研究	8	●			7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択科目	#	基礎通信工学	3		新J	電気・電子回路第一	2	3	
	#	情報処理基礎論	2		新J	離散数学	2	3	
		情報理論	2		新J	情報通信システム	2	5	
		コミュニケーションネットワーク	3		新J	コンピュータネットワーク	2	5	
		アルゴリズムとデータ構造	3		新J	アルゴリズムとデータ構造並びに同演習	3	3	
	#	数理モデル概論	2		新J	知的情報処理	2	6	
	#	基礎エレクトロニクス	3		新J	電気・電子回路第二	2	4	
	#	応用エレクトロニクス	2		新J	論理回路	2	4	
	#	認識行動システム論	2		新J	インタラクティブシステム	2	5	
	#	メディア情報処理	2		新J	ビジュアル情報処理	2	5	
		コミュニケーション論	2		新J	コミュニケーション論	2	5	
		基礎情報学	2		新J	社会情報論	2	5	
		Basic Spoken English	2	●					開講せず。
		Spoken English	2	●					開講せず。
		メディアリテラシー	2		新J	メディアリテラシー	2	5	
	#	メディアネットワーク	2		新J	メディアネットワーク	2	5	
	メディアデザイン	2		新J	メディア論	2	6		
#	ユビキタスネットワーク	2		新J	ユビキタスネットワーク	2	6		
選択科目	#	統計数学	2		新J	確率論	2	3	
		システム工学	2		新M	現代制御工学	2	6	
		制御工学	2		新J	応用数学	2	3	
		〇認知科学	2		共通	認知科学	2	6	
	#	情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5	
	#	生活情報化論	2		新J	社会情報論	2	5	
	#	知的財産権管理	2	●					開講せず。
		科学技術史	2	●					開講せず。
		社会調査法	2		新J	マーケティング科学	2	6	
	#	科学技術と倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
	#	科学技術と国際政治	2		共通	現代の世界政治	2	6	
	#	ベンチャービジネス概論	2		共通	ベンチャービジネス概論	2	5	
	#	多変量解析	2		新J	多変量解析	2	5	



C.4 学科専門科目

C.4.7 人間コミュニケーション学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
選択 科目	#	データマイニング	2		新J	アルゴリズム論	2	5	
	#	データベース論	2		I	データベース論	2	5	
		ソフトウェア工学	2		新J	ソフトウェア工学	2	6	
	#	メディア分析法	2		新J	メディア分析法	2	5	
	#	身体文化コミュニケーション論	2		共通(上級)	スポーツとコミュニケーション	2	6	
	#	映像論	2		新J	メディア論	2	6	
	#	メディアアート	2						開講せず。
		※基礎数学演習第一	1		新J	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新J	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新J	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新J	※基礎物理学演習第二	1	2	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
	自由科目		画像工学	2		S	画像工学	2	6
		データ構造論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5	
		経営情報システム	2		新J	データベース論	2	5	
#		キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
#		キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
#		キャリアデザインC	2		共通	イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1	2	5	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

平成28年度

電気通信学部 読替科目等対応表  
(夜間主コース)

平成28年4月

総合文化科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修 選択の 別	再履 修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
人文・社会科学科目	哲学	2	○		K課程	哲学	2		
	倫理学	2	○			倫理学	2		
	心理学	2	○			心理学	2	2	
	歴史学	2	○			歴史学	2	1	
	科学史	2	○			科学史	2		
	文学	2	○			文学	2		
	美術	2	○			美術	2	1	
	音楽	2	○			音楽	2	2	
	経済学	2	○			経済学	2	1	
	社会学	2	○			社会学	2		
	法学	2	○			法学	2	1	
	政治学	2	○			政治学	2		
	地理学	2	○			地理学	2	1	
	社会思想史	2	○			社会思想史	2	1	
	文化人類学	2	○			文化人類学	2	2	
言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1	◎		K課程	Academic Written English I	1	1	
	Academic Spoken English I	1	◎			Academic Spoken English I	1	1	
	Academic Written English II	1	◎			Academic Written English II	1	2	
	Academic Spoken English II	1	◎			Academic Spoken English II	1	2	
言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	1	◎		K課程	Academic English for the Second Year I	1	3	
	Academic English for the Second Year II	1	◎			Academic English for the Second Year II	1	4	
言語文化基礎科目II	独語第一	1	○		昼間コース	独語第一(再履)	1	3	
	独語第二	1	○			独語第二(再履)	1	4	
	仏語第一	1	○			仏語第一(再履)	1	3	
	仏語第二	1	○			仏語第二(再履)	1	4	
	露語第一	1	○			露語第一(再履)	1	3	
	露語第二	1	○			露語第二(再履)	1	4	
	中国語第一	1	○			中国語第一(再履)	1	3	
	中国語第二	1	○			中国語第二(再履)	1	4	
韓国朝鮮語第一	1	○		韓国朝鮮語第一(再履)	1	3			
韓国朝鮮語第二	1	○		韓国朝鮮語第二(再履)	1	4			
言語文化演習科目	英語演習	2			昼間コース	英語演習	2	3又は4	
	独語演習	2				独語演習	2	3	
	独語運用演習	2				独語運用演習	2	4	
	仏語演習	2				仏語演習	2	3	
	仏語運用演習	2				仏語運用演習	2	4	
	露語演習	2				露語演習	2	3	
	露語運用演習	2				露語運用演習	2	4	
	中国語演習	2				中国語演習	2	3	
	中国語運用演習	2				中国語運用演習	2	4	
	韓国朝鮮語演習	2				韓国朝鮮語演習	2	3	
	韓国朝鮮語運用演習	2				韓国朝鮮語運用演習	2	4	
	国際文化演習	2				国際文化論	2	6	
	言語表現演習	2				外国語との対比による日本語表現	2	5	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

総合文化科目(夜間主コース)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 の 別	再 履 修 ク ラ ス	読 替 科 目 (情 報 理 工 学 部)			開 講 学 期	備 考
					開 講 学 科	新 学 科 科 目 名	単 位 数		
	健康・体力づくり実習	1	◎		昼間コース	健康・体力づくり実習	1	1.2	
	健康論	1	◎		昼間コース	健康論	1	2	
	生涯スポーツ演習A	1	○		昼間コース	生涯スポーツ演習A	1	3	
	生涯スポーツ演習B	1	○		昼間コース	生涯スポーツ演習B	1	4	
	生涯スポーツ演習C	1	○		昼間コース	生涯スポーツ演習C	1	夏季集中	
	生涯スポーツ演習D	1	○		昼間コース	生涯スポーツ演習D	1	冬季集中	
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2	○		K課程	宇宙・地球科学	2	4	
	生物学	2	○	●				1	夜間主コース再履修クラスでの履修又は情報理工学部昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。
					昼間コース	生物学	2	2	
	現代物理学	2	○		K課程	基礎物理学第三	2	3	
	物質とエネルギー	2	○	●				2	再履修クラスを受講のこと。
物質化学	2	○		K課程	環境科学	2	4	K課程読替科目での履修又は昼間コース読替科目での履修のいずれかを選択すること。	
				昼間コース	材料化学	2	2		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

専門基礎科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
専門基礎 科目	微分積分学第一	2	(必修・選択の別は学科により異なるので、学修要覧を参照のこと。)		K	基礎微分積分学第一	2	1	なるべく情報理工学域1年次時間割記載の火曜6時限再履修クラスで受講すること。
	微分積分学第二	2			K	基礎微分積分学第二	2	2	
	線形代数学第一	2			K	ベクトルと行列第一	2	1	
	線形代数学第二	2			K	ベクトルと行列第二	2	2	
	解析学	2			K	基礎解析学	2	3	
	力学第一	2			K	基礎物理学第一	2	1	
	力学第二	2		●				2	再履修クラスを受講のこと。
	基礎科学実験A	2		●				1	履修方法は、物理教室の指示に従うこと。
	基礎科学実験B	2		●				2	履修方法・履修学期は、化学教室の指示に従うこと。
					(昼間コース)	(基礎科学実験B)	(2)		
	コンピュータリテラシー	2			K又は 昼間コース	コンピュータリテラシー	2	1	夜間主コースでの履修又は昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。
	基礎プログラミングおよび演習	2			K又は 昼間コース	基礎プログラミングおよび演習	2	2	夜間主コースでの履修又は昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。
	工学基礎演習第一	1		●				1	再履修クラスを受講のこと。(各学科の指示に従うこと。)
	工学基礎演習第二	1		●				(※1)、2	再履修クラスを受講のこと。(各学科の指示に従うこと。)※旧J学科は1学期に開講。
	熱物理学	2			K	基礎物理学第二	2	2	
	波動と光	2			K	現代物理学概論	2	5	
	化学結合と構造	2			K	化学結合と構造	2	1	
※物理学入門第一	2						開講せず。		
※物理学入門第二	2						開講せず。		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

専門共通科目(夜間主コース)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	必修 選択の 別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
専門共通 科目	応用解析A	2	(必修・ 選択の 別は学 科によ り異な るので 、学修 要覧を 参照の こと。)		K	応用数学A	2	3	
	応用解析B	2			K	応用数学B	2	4	
	関数論	2		●				3	再履修クラスを受講のこと。
	確率統計	2			K	確率統計	2	4	
	数理解析	2		●				4	再履修クラスを受講のこと。
	電磁気学第一	2			K	電磁気学および演習	3	3	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 <u>※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。</u>
	電磁気学第二	2		●				4	再履修クラス(4学期)、またはS科電磁気学第二(4学期)を受講すること。※なるべくS科電磁気学第二を受講すること。
					S	電磁気学第二	2	4	
	電磁気学	2			K	電磁気学および演習	3	3	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 <u>※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。</u>
	アルゴリズムとデータ構造	2			K	アルゴリズム・データ構造および演習	2	6	
	計算機工学	2			K	計算機工学	2	4	
	論理回路	2			K	論理回路学	2	3	
	情報理論	2			K	情報通信と符号化	2	5	
	基礎電子工学	2			K	基礎電子工学	2	5	
	電気回路学第一	2			K	電気回路学および演習	3	4	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 <u>※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。</u>
	電気回路学第二	2			K	回路システム学	2	5	K回路システム学(5学期)、またはI科回路システム学(5学期)を受講すること。 <u>※演習も受講する場合は、なるべくI科回路システム学を受講すること。</u>
			I	回路システム学	2	5			
電気・電子回路学	2		K	電気回路学および演習	3	4	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 <u>※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。</u>		

## 専門共通科目(夜間主コース)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 の 別	再 履 修 ク ラ ス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
専門共通 科目	制御工学	2			K	制御工学	2	5	
	メカトロニクス	2			K	メカトロニクス	2	6	
	知的財産権概論	2			K	技術者倫理と知的財産	2	7	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.1 情報通信工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修	離散数学第一	2		K	離散数学	2	5	
	離散数学第一演習	1	●				1	再履修クラスを受講のこと。
	電磁気学第一演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電気回路学第一演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	プログラミング演習	1		K	プログラミング通論および演習	2	3	
	電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	電気回路学第二演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	アルゴリズム基礎論	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	アルゴリズム基礎論演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	論理回路学演習	1	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	情報通信工学実験A	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	情報通信工学実験B	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	情報通信工学演習	2	●				7	再履修クラスを受講のこと。
	目録	輪講	2	●				7・8
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
選択	離散数学第二	2		I	グラフとネットワーク	2	5	
	信号処理論	2		K	信号処理論	2	5	
	電子回路学	2		K	電子回路学	2	6	
	線形システム理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	情報理論第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	計測工学	2		K	計測工学	2	6	
	通信システム	2		K	通信・ネットワーク	2	6	
	電磁波工学	2		K	電磁波工学	2	6	
科目自由	情報ネットワーク	2		I	コンピュータネットワーク	2	6	
	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース



C.4 学科専門科目

C.4.2 情報工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	離散数学	2		K	離散数学	2	5	
	計算機通論	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	プログラミング通論	2		K	プログラミング通論および演習	2	3	
	情報工学演習第一	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学演習第二	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学実験第一	4	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学実験第二	4	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学実験第三	4	●				7	再履修クラスを受講のこと。
	輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
選択科目	数理解析第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	オペレーティングシステム論	2		I	オペレーティングシステム論	2	6	
	☆コンピュータネットワーク	2		K	通信・ネットワーク	2	6	
	☆人工知能論	2		K	知能システム	2	7	
	オートマトン理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	★言語処理系論	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または1科言語処理系論(5学期)を受講すること。※なるべく1科言語処理系論を受講すること。
				I	言語処理系論	2	5	
	コンピュータ設計論	2		K	計算機工学	2	4	
★数値計算	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または1科数値計算(4学期)を受講すること。※なるべく1科数値計算を受講すること。	
			I	数値計算	2	4		
科目自由	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			備考		
				開講学科	新学科科目名	単位数			
必修	電子工学基礎セミナー	2		K	総合コミュニケーション科学	2	4		
	電気数学演習	1	●				3	再履修クラス(3学期)、またはS科応用数学(5学期)を受講すること。※なるべく応用数学を受講すること。	
				S	応用数学	2	5		
	電磁気学第一演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。	
	電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
	電気回路第一演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。	
	電気回路第二演習	1	●					3	再履修クラス(3学期)、またはI科回路システム学演習(5学期)を受講すること。※なるべく回路システム学演習を受講すること。
				I	回路システム学演習	1	5		
	電子回路	2		K	電子回路学	2	6	K電子回路学、または新M科電子回路学および演習を受講すること。新M科電子回路学および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため掲示で確認すること。	
				新M	電子回路および演習	3	5		
	電子回路演習	1	●					6	再履修クラス(6学期)、または新M科電子回路学および演習(5学期)を受講すること。※なるべく電子回路学および演習を受講すること。なお、新M科電子回路学および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため教員に確認すること。
				新M	電子回路および演習	3	5		
	デジタル回路演習	1	●					5	再履修クラスを受講のこと。
	電子工学実験第一	3	●					4	再履修クラスを受講のこと。
電子工学実験第二	3	●					5	再履修クラス(5学期)、またはS科電子工学実験第一(5学期)を受講すること。※なるべくS科電子工学実験第一を受講すること。	
			S	電子工学実験第一	3	5			
電子工学実験第三	3	●					6	再履修クラスを受講のこと。	
電子工学輪講	2	●					7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
卒業研究	8	●					7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択科目	応用電子回路	2	●				6	再履修クラス(6学期)、またはI科集積回路学(7学期)を受講すること。※なるべく集積回路学を受講すること。	
				I	集積回路学	2	7		
	量子力学	2	●					5	再履修クラスを受講のこと。
	固体物理学	2	●					5	再履修クラスを受講のこと。
半導体工学	2	●					5	再履修クラス(5学期)、またはS科半導体工学(6学期)を受講すること。※なるべくS科半導体工学を受講すること。	
			S	半導体工学	2	6			

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	ク再 ラ履 ス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
選択 科 目	光波工学	2	●				6	再履修クラス(6学期)、またはS科光波工学(6学期)を受講すること。 <u>※なるべく光波工学を受講すること。</u>
				S	光波工学	2	6	
	計測工学	2		K	計測工学	2	6	
	画像工学	2		K	ヒューマンインタフェース	2	7	Kヒューマンインタフェース(7学期)、またはS科画像工学(6学期)を受講すること。
				S	画像工学	2	6	
	電磁波工学	2		K	電磁波工学	2	6	
	通信工学	2		K	通信・ネットワーク	2	6	
デジタル信号処理	2		K	信号処理論	2	5		
自由 科 目	地学第一	2		M, S	地学第一	2	1	
	地学第二	2						開講せず。
	地学実験	2		M, S	地学実験	2	5	
	生物学実験	2		M, S	生物学実験	2	5	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	電気・電子回路学演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電磁気学演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	(イ)コース又は(社)コースを受講すること。履修方法は別途掲示する。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	量子力学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	統計熱力学	2	△	△	△	△		開講せず。
	物性物理学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	物質生命情報工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	量子物理工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	材料物質科学A	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	材料物質科学B	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	量子・物質工学実験A	3	△	△	△	△		開講せず。
	量子・物質工学実験B	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
選択科目	コンピュータ応用	2		K	プログラミング通論および演習	2	3	
	基礎生物学	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	半導体工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	光エレクトロニクス	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	生命情報科学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	量子エレクトロニクス	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
自由科目	地学第一	2		S	地学第一		1	
	地学第二	2	△	△	△	△		開講せず。
	地学実験	2		S	地学実験		5	
	生物学実験	2		S	生物学実験		5	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

## C.4 学科専門科目

## C.4.5 知能機械工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	ク 再 履 ス 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考	
				開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目	マシンデザイン基礎	2	●				4	再履修クラス(4学期)、または新M科メカノデザイン(4学期)を受講すること。	
				新M	メカノデザイン(再履のみ)	2	4		
	マシンデザイン演習	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新M科マシンデザインI(5学期)を受講すること。	
				新M	マシンデザインI(再履のみ)	2	5		
	知能機械基礎実験	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	知能機械ケーススタディ	4	●				7	履修方法は指導教員に確認すること。	
卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。		
選択必修科目	材料力学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M科材料力学および演習(3学期)を受講すること。	
				新M	材料力学および演習(再履のみ)	3	3		
	機械力学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M科機械力学および演習(4学期)を受講すること。	
				新M	機械力学および演習(再履のみ)	3	4		
	材料科学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M科材料工学(6学期)を受講すること。	
				新M	材料工学(再履のみ)	2	6		
	エネルギー変換工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	流体力学	2	●				4	再履修クラス(4学期)、または新M科流体力学および演習(6学期)を受講すること。	
				新M	流体力学および演習(再履のみ)	3	6		
	機構要素設計	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新M科機構要素設計(5学期)を受講すること。	
			新M	機構要素設計(再履のみ)	2	5			
加工学	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新M科加工学および演習(5学期)を受講すること。		
			新M	加工学および演習(再履のみ)	3	5			
基礎ロボット工学	2			K	ロボティクス	2	7		
CAD演習	1	●					7	再履修クラスを受講のこと。	
選択科目	メディアデザイン	2			新J	メディア論	2	6	
	ヒューマンインタフェース	2			K	ヒューマンインタフェース	2	7	
	システムマネジメント	2			K	先端トピクスAもしくはB	2	7	
	流体工学	2	●					5	再履修クラスを受講のこと。
	機械設計工学	2			K	設計工学	2	5	
	生産システム工学	2	●					6	再履修クラス(6学期)、または新M科生産システム工学(6学期)を受講すること。
			新M	生産システム工学(再履のみ)	2	6			

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
				開講学科	新学科科目名	単位数			
選択科目	メカトロニクス応用	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または新M科メカトロニクス応用(6学期)を受講すること。	
				新M	メカトロニクス応用(再履のみ)	2	6		
	品質・信頼性工学	2		K	組み込みシステム	2	5		
	情報システム学概論	2	/	/	/	/	/	開講せず。	
	システム工学	2		K	制御工学	2	5		
	リサイクル工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	科学技術史	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	航空宇宙工学	2	●				2	7	再履修クラス(7学期)又は新M科航空宇宙工学(7学期)を受講すること。
				新M	航空宇宙工学(再履のみ)	2	7		
コミュニケーション論	2		新J	コミュニケーション論	2	5			
科目自由	職業指導	4	/	/	/	/	/	開講せず。	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
- 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.6 システム工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	情報リテラシー	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	システム工学実験第一	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	システム工学実験第二	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	システム工学実験第三	1	●				7	再履修クラスを受講のこと。
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。
選択科目	情報リテラシー演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	オペレーションズリサーチおよび演習A	2		K	アルゴリズム・データ構造および演習	2	6	
	オペレーションズリサーチおよび演習B	2		K	マーケティング科学	2	7	
	経営システム工学基礎および演習	2						開講せず。
	システム工学	2		K	制御工学	2	5	
	ヒューマンインタフェース	2		K	ヒューマンインタフェース	2	7	
	行動科学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	信号処理論	2		K	信号処理論	2	5	
	システム・マネジメント	2		K	先端トピクスAもしくはB	2	7	
	経営経済システム工学	2						開講せず。
	品質・信頼性工学	2		K	組み込みシステム	2	5	
	ソフトウェア工学	2		K	設計工学	2	5	
	リサイクル工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	認知科学	2		昼・共通(上級)	認知科学	2	6	
	メディアデザイン	2		新J	メディア論	2	6	
コミュニケーションネットワーク	2		新J	コンピュータネットワーク	2	5		
科目自由	応用代数学	2		K	応用代数学	2	4	
	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.7 人間コミュニケーション学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
				開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目	人間コミュニケーション学基礎セミナー	2	●	昼間コース 共通	電気通信大学概論	2	1	開講せず。本科目の履修希望者は教育委員 高橋(裕)先生に相談すること。	
	人間コミュニケーション学実験	4	●					開講せず。	
	輪講	2	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
	卒業研究	8	●				7・8	履修方法は指導教員に確認すること。	
選択科目	メディアリテラシー	2		新J	メディアリテラシー	2	5		
	メディアデザイン	2		新J	メディア論	2	6		
	Basic Spoken English	2						開講せず。	
	Spoken English	2						開講せず。	
	コミュニケーション論	2		新J	コミュニケーション論	2	5		
	基礎情報学	2						開講せず。	
	コミュニケーションネットワーク	2		新J	コンピュータネットワーク	2	5		
	社会調査法	2		新J	マーケティング科学	2	6		
	科学技術史	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	リサイクル工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	認知科学	2		昼・共通 (上級)	認知科学	2	6		
	ソフトウェア工学	2		K	設計工学	2	5		
	システム工学	2		K	制御工学	2	5		
	品質・信頼性工学	2		K	組み込みシステム	2	5		
	自由科目	オペレーションズリサーチおよび演習A	2		K	アルゴリズム・データ構造および演習	2	6	
		オペレーションズリサーチおよび演習B	2		K	マーケティング科学	2	7	
応用幾何学		2		K	応用幾何学	2	4		

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。なお、1年次開講科目は「情報理工学域科目」に読み替えるので、「情報理工学部読替科目対応表」を確認の上、「情報理工学域時間割」を参照すること。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。  
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S  
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース